
ドライバーへの「マスク着用」の徹底

『他人事』ではなく

『自分』が起きたら、『自分』が遭ったら、『家族』が起きたら、『家族』が遭ったら

帯広市 分散登校中…住宅街の走行は、『徐行』、『安全確認』

ごみ収集車 ごみをピットに入れる作業中

15メートル下に転落、38歳男性が手首骨折のケガ
安全のための2重扉が故障で、解放状態になっていた

2020/5/25(月) 19:03

愛知県のゴミの焼却施設で25日午後2時前、ゴミを集積していた可燃ゴミのピットに男性作業員（38）が落下し手首を骨折するケガをしました。施設内の監視カメラが、事故の瞬間を捉えていました。大量のゴミがピットに入れられる中、次の瞬間…1人の男性作業員がピットに落下。男性はおよそ15メートル落下しましたが、ゴミがクッションになり、命に別条はありませんでした。施設によりますと、男性作業員はゴミ収集車で回収したゴミをピットに入れる作業中に、誤って転落したということです。男性は命綱をつけていませんでした。安全のために2重扉というものが付いているんですけれども、その扉が故障してしまっ解放状態になっていた。警察は、施設の安全管理に問題がなかったか、事故の状況を詳しく調べています。

フォークリフトが、「横転」し、「下敷き」に

運転していた男性死亡

◇重機・トラクターの積み降し時は、地面の水平を確認し、登坂板から外さないように注意しましょう◇

2020/5/25(月) 22:49

25日午後4時過ぎ、岐阜県揖斐で、「フォークリフトが道で横転していて、人が下敷きになっている」と通りがかった人から119番通報がありました。この事故でフォークリフトを運転していた男性（78）が病院へ運ばれましたが、まもなく死亡が確認されました。フォークリフトは高さは2.5メートル、長さ4.1メートル、幅1.1メートルで、重さは3,990キロあり、男性は妻と茶刈り機の修理をするために使っていたということです。警察によりますと男性は茶刈り機を修理したあと、フォークリフトを近くの倉庫へ戻すため1人で運転していたところ何らかの理由で横転し、下敷きになったとみられています。